



## 第33回自治体にはたらく女性の全国交流集会

27年ぶりに大阪で開催



1980年に自治体にはたらく女性が共通の悩みや要求を語り、学び合おうと始まった「自治体にはたらく女性の全国交流集会」。

来年は近畿ブロック女性部主催で、2013年6月8日(土)～9日(日)に大阪のドーンセンターで開催されます。

大阪での開催は、実に27年ぶりです。6月29

日に第1回実行委員会を開き、会場の決定や全体会の講師の依頼など、準備を進めています。実行委員には、いろいろな職場・職種の女性たちに参加してもらおうと呼びかけています。京都、兵庫、滋賀、奈良からも実行委員会に参加して熱心にまた、にぎやかに会議をすすめています。

メインスローガンとキャラクターも決定

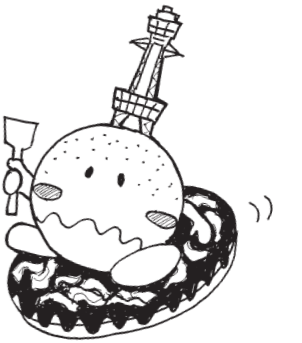


9月27日の第3回実行委員会では、組合員から募集したキャラクターとメインスローガンを投票で決めました。

キャラクターの作者は、府職労・砂川厚生福祉センターの貴瀬広美さん。「大阪らしいものを考えて3分で仕上げました。こんなんでええんやらか?」と本人の言葉ですが、実行委員からは「大阪らしくていい」とダントツの1位で決定。みんなで考えたメインスローガンは、



貴瀬 広美さんとキャラクター



「すきやねん 街も仕事もおしゃべりも 自由 止められへんで! この熱い思い!!」

平等

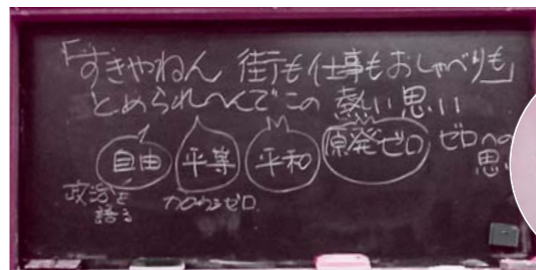
平和

スローガンのアイデアを出してくれたのは、松原市職労の浦井裕子さん。そして、実行委員で意見を出し合い決定しました。

記念講演は、県立広島大学の都留民子さんに決められました。「失業する権利のある国フランスと貧困・格差のある日本の労働者の違い」などを話していただく予定です。ぜひ、実行委員会にみなさんもお参加ください。



浦井 裕子さん



激論がかわされた  
メインスローガン

# 「にぎやかに熱心に準備中！」

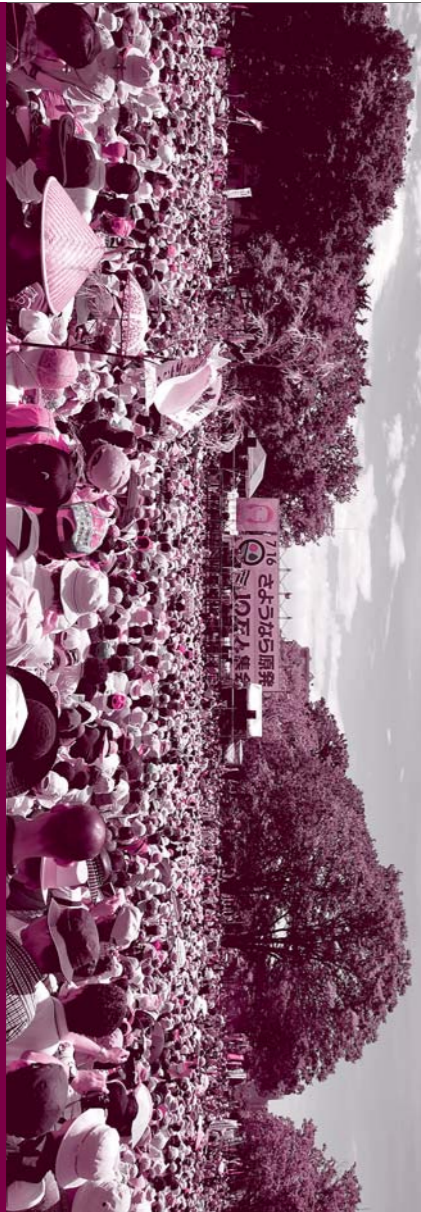
## 原発ゼロの会・大阪「発足1周年記念のつどい」

10月7日 エルおおさか

800人をこえる参加者で開催された「つどい」。「原発ゼロへー生命とくらしを守るために」として安齋育郎・立命館大学名誉教授の記念講演と、府下各地から15団体の怒りと取り組みが報告されました。「子どもたちの未来を脅かす原発はいらない」「今すぐ自然エネルギーに転換を」の声を大きく広げ、政府が原発推進をあきらめるまで会員を増やし、学習・宣伝・署名にがんばろうと決意を新たにする集会になりました。その後、大阪市役所までパレードしました。



# 未来へ 届けよう 原発ゼロの声! 声! 声!



「つどい」の様子(左)と「原発10万人集会」(東京・代々木公園)



関電本社前での抗議行動